

大雨による防災情報（第5報）

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制（砂防）】**継続**

湯沢河川国道事務所では、八幡平山系秋田県側（仙北市田沢湖生保内地内）の雨量観測所の連続雨量が120mmに達し、土砂災害による被害が発生する恐れがあることから、8月6日23時20分より災害対策支部を「警戒体制（砂防）」として、流域の警戒にあたっています。
本日、8月8日13時より砂防施設の点検を実施し、異常がないことを確認しました。台風11号の接近に伴い降雨が予想されますので、引き続き警戒にあたります。

◆砂防降雨状況（8月8日17時00分現在）

山系	雨量観測所 （仙北市）	連続雨量	時間雨量 16～17時
八幡平山系 （秋田県側）	黒湯	188mm	0mm
	熊ノ台	4mm	0mm
	生保内	51mm	0mm
	小先達	11mm	0mm

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
砂防	8月6日 11時10分	8月6日 23時20分	—	—

◆その他

今後の防災情報にご注意ください。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
TEL 0183-73-3174（代表）
副所長（河川・砂防） 佐藤 徳男（内線204）
調査第一課長（河川・砂防） 林 将宏（内線351）